

## 研究成果の刊行に関する一覧表

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
吉川 悦子, 小木 和孝, 佐野友美, 吉川 徹			職場ストレス予防 チェックポイント ～ 職場ストレス 予防のための実際 的な改善策	大原記念労働科 学研究所	東京	2018	
立石清一郎	治療と職業生活 の両立	森晃爾【編】	働く人の健康状態 の評価と就業措 置・支援	労働調査会	東京	2018	136-159
立石清一郎	治療と職業生活 の両立支援 休 職から復職に至 る一貫した支援 のポイントは	森晃爾【編】	嘱託産業医のため の Q&A 改訂 5 版 産業保健ハンドブ ック	労働調査会	東京	2018	102-105
立石清一郎	治療と仕事の両 立支援制度	堀江正知 監修	産業保健ストラ テジーシリーズ 第 3 巻 適正配置・ 両立支援ストラ テジー[第 2 版]	バイオコミュニ ケーションズ	神奈川	2019	11-13
柴田喜幸 (単著)		柴田喜幸	産業保健スタッ フのための教え方 26 の鉄則	中央労働災害防 止協会	東京	2018	

## 雑誌

著者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小島原 典子, 福本 正勝, 吉川 悦子, 品田 佳世子, 對木 博一	「科学的根拠に基づく産業保健 分野における復職ガイダンス 2017」の作成	産業衛生学雑誌	60(5)	103-111	2018
立石清一郎	我が国における治療と職業生活 の両立支援研究の変遷について	産業医学レビュー	Vol31(1)	53-72	2018

立石 清一郎, 市来 嘉伸, 荻ノ沢 泰司, 榎田 奈保子, 細田 悦子, 近藤 貴子, 黒木 一雅	【治療と仕事の両立におけるストレス】 医療職の立場から見たがん患者の就業配慮の手法に関する検討	産業ストレス研究	(1340-7724) 25 巻 3 号	289-295	2018
藤野 昭宏, 立石 清一郎, 森 晃爾	身体疾患を有する患者の就労支援における患者及び主治医と会社及び産業医との情報共有に関する倫理的検討 合理的配慮と安全配慮義務に関する法的・倫理的検討(解説)	人間と医療	8 号	43-51	2018
立石清一郎	さまざまな場面での就労支援 治療関連障害でもととの仕事ができない/無理なとき 産業医からみた就労支援	緩和ケア	29 巻 1 号	44-45	2018
立石清一郎	両立支援に向けた社内環境・体制の整備、高齢者雇用と働き方改革 治療と仕事の両立支援のポイント	エルダー	40(11) 通巻 469 号	48-49	2018
立石清一郎	個人情報への入手・整理と個人情報の取り扱い、高齢者雇用と働き方改革 治療と仕事の両立支援のポイント	エルダー	40(12) 通巻 470 号	46-47	2018
立石清一郎	職場復帰・両立支援プランの策定の方法、高齢者雇用と働き方改革 治療と仕事の両立支援のポイント	エルダー	41(1) 通巻 471 号	40-41	2018
立石清一郎	職場復帰・両立支援プランの策定の方法、高齢者雇用と働き方改革 従業員ががんに罹患した時の対応	エルダー	41(2) 通巻 472 号	40-41	2018
立石清一郎	まとめ・その他の留意事項、高齢者雇用と働き方改革 従業員ががんに罹患した時の対応	エルダー	41(4) 通巻 474 号	50-51	2019
Nagata M, Nagata T, Inoue A, Mori K.	Effect modification by attention deficit hyperactivity disorder (ADHD) symptoms on the association of psychosocial work environments with psychological distress and work engagement.	FRONTIERS IN PSYCHIATRY	10	166	2019

新里なつみ, 永田昌子, 永田智久, 森晃爾	企業における健康施策決定プロセスと企業・労働者のニーズを踏まえた産業医の介入に関する探索的検討。	産業衛生学雑誌		印刷中	
永田昌子, 森晃爾, 永田智久, 金子鉦明, 井上愛	職場での課題解決につながりうる衛生委員会における産業医の行動の種類	日本衛生学雑誌	74	18022	2019
Kusumoto A, Kajiki K, Fujino Y, Namba Y, Nagata T, Nagata M, Tsutsumi A, Mori K.	Characteristics of self-reported daily life note (LN) users in return-to-work judgment for workers on sick leave due to mental health conditions, and usefulness of the tool.	Ind Health	57(1)	79-83	2019
Mori K, Mori T, Nagata T, Nagata M, Iwasaki M, Sakai H, Kimura K, Shinzato N.	Factors of Occurrence and Improvement Methods of Presenteeism Attributed to Diabetes: A Systematic Review.	JOURNAL OF OCCUPATIONAL HEALTH	61(1)	36-53	2019
Ito N, Nagata T, Tatemichi M, Takebayashi T, Mori K.	Needs Survey on the Priority Given to Periodical Medical Examination Items among Occupational Physicians in Japan	JOURNAL OF OCCUPATIONAL HEALTH	60(6)	502-514	2018
Mori K.	Current Status and Issues for the Role of Occupational Health Physicians in Japan	JMA Journal	1(1)	15-21	2018
高橋哲雄, 久保達彦, 森晃爾	英国の危機管理システムと安全衛生機能の位置づけ	産業医科大学雑誌	40(2)	201-208	2018
Nagata T, Mori K, Ohtani M, Nagata M, Kajiki S, Fujino Y, Matsuda S, Loeppke R.	Total Health-related Costs Due to Absenteeism, Presenteeism, and Medical and Pharmaceutical Expenses in Japanese Employers.	JOURNAL OF OCCUPATIONAL AND ENVIRONMENTAL MEDICINE	60(5)	e273-e280	2018
鈴木 聡	医療者の「話す」と「聴く」	新薬と臨床	67	1551-1554	2018

Hisamura K, Matsushima E, Tsukayama S, Murakami S, Motoo Y.	An exploratory study of social problems experienced by ambulatory cancer patients in Japan: Frequency and association with perceived need for help.	Psycho-oncology	27(7)	1704-1710	2018
錦戸 典子	【多様な「働き方」とメンタルヘルス】 治療と就労の両立支援の推進に向けた課題とメンタルヘルスの視点 保健師を含めた多職種連携による支援モデルの検討	産業精神保健	(1340-2862) 26 巻特別号	49-52	2018
崎山 紀子 , 錦戸典子	がん患者サバイバーシップへの支援 産業保健師の産業保健活動から見た中小企業におけるがんを含む日本健康教育学会誌疾病を持つ社員の治療と就労の両立支援の現状と課題	日本健康教育学会誌	27 巻 1 号	115-119	2018
石川 真子 , 錦戸典子	わが国の職域におけるソーシャル・キャピタルと健康影響に関する研究動向	産業精神保健	26 巻 4 号	409-416	2018
澤祥幸	肺がんサバイバーに医師ができること；欧米における肺がんサバイバーシップの現状	日本医事新報	4915	41-47	2018
澤祥幸	さまざまな場面での就労支援；治療関連障害でもととの仕事ができない/無理なときー医療者側の考え方	緩和ケア	vol29 NO.1	036-041	2018
Kotani H, Kataoka A, Sugino K, Iwase M, Onishi S, Adachi Y, Gondo N, Yoshimura A, Hattori M, Sawaki M, Iwata H.	The investigation study using a questionnaire about the employment of Japanese breast cancer patients.	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY	48(8)	712-717	2018

Takahashi M, Tsuchiya M, Horio Y, Funazaki H, Aogi K, Miyuchi K, Arai Y.	Job resignation after cancer diagnosis among working survivors in Japan: timing, reasons and change of information needs over time.	Jpn J Clin Oncol	48(1)	43-51	2018
清水 佐智子 (鹿児島大学 医学部保健学科看護学専攻), 宮下 光令, 藤澤 大介, 藤森 麻衣子, 高橋 都	がんサバイバーの就業状況、収入の変化に関する経験の実態とQOL・心の健康との関連.	Palliative Care Research	13(3)	209-218	2018
鷹田佳典, 土屋雅子, 田崎牧子, 高橋 都	小児期, 思春期・若年成人期発症がん経験者が就職活動時に直面する困難と情報・支援ニーズに関する探索的研究 病気に関連する困難経験に焦点をあてて	日本保健医療行動科学会雑誌	33(1)	29-38	2018
平岡晃, 古屋佑子, 立石清一郎, 赤羽和久, 錦戸典子, 森晃爾, 高橋都	事業場向け両立支援ガイドラインが「現場」に求めることー医療者向け支援ツールの開発	日本職業・災害医学会誌	66(1)	11-17	2018
高橋都	外来で「がんサバイバー」を診るポイントは?	総合診療	28(9)	1265-1268	2018
古屋佑子, 高橋 都	がん患者の就労支援	日本臨床	76 (増刊2号)	41-46	2018